

令和5年度  
学校要覧



北海道函館養護学校

〒042-0916 函館市旭岡町2番地

☎ (0138) 50-3311 番

fax (0138) 50-3312 番

## I 校歌・校章

作詞 太田 清  
作曲 石田 みゆき

一) はらかな空の 朝やけの雲  
松風わたり 芽ばえる命  
ぼくやわたしが 体をきたえ  
このてのひらに 光をやどし  
ともえのもとに しっかり立って  
手に手をとって 道を広げん

二) 星ふる夜に 降りつむゆきは  
はこだて山に またたくひとみ  
ぼくやわたしが 心をひらき  
そのてのひらに 望みをたくし  
ともえのなかに しっかり立って  
天にもとどく 夢を伸ばさん

三) 母なる海が とどけてくれる  
はげみのことば まぶしく光り  
ぼくやわたしが 世界をめざし  
あのてのひらに 未来をそだて  
ともえのうえに しっかり立って  
あかるく強く 明日を歩まん



函館市

### 校章の由来



制定 昭和54年5月22日

#### ○形状

四つの光ぼうは、知・情・意・体をあらわし、同時に本校の教育目標をさし示すものであり、その中心に巴(函館市章)を置き、さらに養の文字を入れて、函館市にたてられた道南地区肢体不自由養護学校であることをあらわしています。

#### ○願い

多くの人々に支えられた養護学校において、知・情・意・体の四つの教育目標によってはぐくまれ、この世の光となって成長、発達することを願っているものです。

## Ⅱ 学校の沿革

S53	12・1	北海道函館聾学校長 田島勲次 兼ねて 仮称道南地区（青柳）養護学校開校事務取扱発令
	12・26	北海道条例第49号により、北海道青柳養護学校として設置
S54	4・1	函館市青柳学園施設一部を借りて開校
	4・10	第1回入学式（9学級・48名）
	5・22	開校式挙行、校章・校歌制定
	6・4	函館市旭岡町2番地に学校用地取得
S55	3・24	第1回卒業式（小学部8名・中学部4名）
	4・8	入学式（9学級・48名）
S56	3・18	第2回卒業式（小学部2名・中学部5名）
	4・8	入学式（9学級・48名）
	12・24	寄宿舎棟完成
S57	3・17	第3回卒業式（小学部7名・中学部5名）、校舎棟完成
	3・29	新校舎へ移転
	4・1	北海道学校設置条例の一部改正（昭和56年12月24日） 校名を北海道函館養護学校と改める
	4・12	第1回入舎式（舎生11名）
	4・13	入学式（13学級・50名）
	12・20	校舎落成式挙行
S58	3・15	第4回卒業式（小学部3名・中学部8名）
	4・8	入学式（11学級・44名）
S59	3・15	第5回卒業式（小学部10名・中学部1名）
	4・9	入学式（15学級・57名）
S60	3・15	第6回卒業式（小学部7名・中学部7名）
	4・8	入学式（15学級・56名）
S61	3・15	第7回卒業式（小学部6名・中学部5名）
	4・8	入学式（16学級・66名）
S62	3・14	第8回卒業式（小学部5名・中学部12名）
	4・8	入学式（16学級・63名）
S63	3・17	第9回卒業式（小学部5名・中学部9名）
	4・8	入学式（17学級・63名）
	10・5	創立10周年記念植樹祭
	10・29	創立10周年記念式典並びに祝賀会挙行
H1	3・13	第10回卒業式（小学部7名・中学部6名）
	4・8	入学式（15学級・56名）
	10・12	第41回北海道放送教育研究大会、特殊教育諸学校 研究大会（於本校）
H2	3・17	第11回卒業式（小学部7名・中学部4名）
	4・9	入学式（17学級・62名）
	12・11	モデル高等部校舎完成
H3	3・16	第12回卒業式（小学部7名・中学部7名）
	4・1	モデル高等部開設
	4・8	入学式（22学級・73名）
	11・20	第28回北海道肢体不自由児教育研究会開催（於本 校～21日）
	12・10	義務校校舎4教室増築工事完了
H4	3・14	第13回卒業式（小学部7名・中学部5名）
	4・8	入学式（23学級・75名）
	12・15	屋外プール工事完成
H5	3・12	第14回卒業式（小学部10名・中学部7名）
	4・8	入学式（25学級・77名）
H6	3・11	第15回卒業式（小学部7名・中学部8名）
	4・7	第1回高等部卒業式（7名） 入学式（26学級・73名）
H7	3・18	第16回卒業式（小学部2名・中学部4名）
	4・10	第2回高等部卒業式（6名） 入学式（27学級・76名）
H8	2・20	高等部寄宿舎新築工事完成
	3・16	第17回卒業式（小学部6名・中学部11名）
	4・8	第3回高等部卒業式（4名） 入学式（26学級・75名）
H9	3・15	第18回卒業式（小学部8名・中学部5名）
	4・8	第4回高等部卒業式（6名） 入学式（28学級・83名）
	10・20	函館養護学校同窓会発足
H10	3・14	第19回卒業式（小学部8名・中学部1名）
	4・8	第5回高等部卒業式（6名） 入学式（29学級・80名）
	11・22	開校20周年式典挙行
H11	3・12	第20回卒業式（小学部8名・中学部6名）
	4・8	第6回高等部卒業式（5名） 入学式（31学級・85名）
H12	3・10	第21回卒業式（小学部5名・中学部9名）
	4・10	第7回高等部卒業式（9名） 入学式（28学級・79名）
	11・16	第37回北海道肢体不自由児教育研究会開催（於本校）
	12・13	校舎増築工事完成
H13	3・17	第22回卒業式（小学部5名・中学部5名）
	4・8	入学式（32学級・90名）
H14	3・16	第23回卒業式（小学部12名・中学部7名）
	4・8	第8回高等部卒業式（6名） 入学式（30学級・85名）
H15	1・24	大規模改造工事完成
	3・18	第24回卒業式（小学部8名・中学部5名）

	4・8	入学式（31学級・89名）
H16	11・28	教育情報化設置整備工事（校内LAN）完成
	2・21	大規模改造第2期工事完成
	3・19	第25回卒業式（小学部9名・中学部5名） 第10回高等部卒業式（6名） 入学式（28学級・81名）
H17	4・8	第26回卒業式（小学部9名・中学部12名）
	3・16	第11回高等部卒業式（7名） 入学式（27学級・77名）
H18	4・8	第27回卒業式（小学部11名・中学部8名）
	3・17	第12回高等部卒業式（5名） 入学式（28学級・78名）
H19	4・10	第28回卒業式（小学部8名・中学部7名）
	3・16	第13回高等部卒業式（6名） 入学式（30学級・83名）
H20	4・9	第29回卒業式（小学部3名・中学部9名）
	3・19	第14回高等部卒業式（8名） 入学式（30学級・78名）
H21	4・9	第30回卒業式（小学部3名・中学部10名）
	3・19	第15回高等部卒業式（5名） 入学式（31学級・78名）
H22	4・8	第31回卒業式（小学部3名・中学部9名）
	3・19	第16回高等部卒業式（7名） 入学式（30学級・77名）
H23	4・8	第32回卒業式（小学部4名・中学部5名）
	3・17	第17回高等部卒業式（7名） 入学式（27学級・73名）
H24	4・8	第33回卒業式（小学部4名・中学部3名）
	3・14	第18回高等部卒業式（11名） 入学式（27学級・69名）
H25	4・9	第34回卒業式（小学部12名・中学部4名）
	3・14	第19回高等部卒業式（9名） 入学式（24学級・64名）
H26	4・8	第35回卒業式（小学部6名・中学部5名）
	3・13	第20回高等部卒業式（5名） 入学式（22学級・59名）
H27	4・8	第36回卒業式（小学部6名・中学部4名）
	3・13	第21回高等部卒業式（2名） 入学式（24学級・61名）
H28	4・8	第37回卒業式（小学部2名・中学部12名）
	3・11	第22回高等部卒業式（6名） 入学式（23学級・59名）
H29	4・8	第38回卒業式（小学部1名・中学部9名）
	3・10	第23回高等部卒業式（4名） 入学式（23学級・57名）
H30	4・10	第39回卒業式（小学部7名・中学部9名）
	3・9	第24回高等部卒業式（2名） 入学式（24学級・60名）
H31	4・9	第40回卒業式（小学部3名・中学部2名）
	3・8	第25回高等部卒業式（12名） 入学式（20学級・49名）
R 2	4・8	第41回卒業式（小学部1名、中学部2名）
	3・13	新型コロナウイルス感染症対策のため中止 第26回高等部卒業式（9名） 入学式（17学級・41名）
R 3	4・8	第42回卒業式（小学部5名、中学部7名）
	3・24	第27回高等部卒業式（10名） 入学式（14学級・35名）
R 4	4・8	第43回卒業式（小学部2名、中学部4名）
	3・11	第28回高等部卒業式（3名） 入学式（16学級・38名）
R 5	4・8	第44回卒業式（小学部2名、中学部1名）
	3・10	第29回高等部卒業式（1名） 入学式（17学級・42名）

### 歴代校長

初代	吉田 徹	S54. 4. 1	～	S56. 3. 31
2代	石塚 勉	S56. 4. 1	～	S61. 3. 31
3代	瀬川 啓三	S61. 4. 1	～	S63. 3. 31
4代	生内一三	S63. 4. 1	～	H 2. 3. 31
5代	澤田 三尾	H 2. 4. 1	～	H 5. 3. 31
6代	松山 良夫	H 5. 4. 1	～	H 7. 3. 31
7代	小林 禎一	H 7. 4. 1	～	H 9. 3. 31
8代	青野 昌勝	H 9. 4. 1	～	H10. 3. 31
9代	大窪 孝司	H10. 4. 1	～	H13. 3. 31
10代	古旗 英捷	H13. 4. 1	～	H15. 3. 31
11代	前川 政則	H15. 4. 1	～	H18. 3. 31
12代	神田 英治	H18. 4. 1	～	H19. 3. 31
13代	松野 毅彦	H19. 4. 1	～	H21. 3. 31
14代	赤松 拓	H21. 4. 1	～	H23. 3. 31
15代	高橋 和明	H23. 4. 1	～	H26. 3. 31
16代	千葉 聡美	H26. 4. 1	～	H28. 3. 31
17代	生内 聡	H28. 4. 1	～	H30. 3. 31
18代	櫻田なおみ	H30. 4. 1	～	R 4. 3. 31
19代	野中 宏	R 4. 4. 1	～	

### Ⅲ 学校経営の重点

#### 学校教育目標

子ども 一人一人のもっているよさや個性を發揮できるようにし  
心豊かにたくましく社会で共に生きる力を育てる

#### めざす 児童生徒像

- 楽しんで学び続ける人（知）
- 互いのよさを認め合い、人とのつながりをもてる人（情）
- 自分の考えを表現し、生き生きと活動する人（意）
- 命と心身の健康を大切にする人（体）

#### 校章の由来と教育目標

校章の四つのぼうは、「知・情・意・体」の当時の教育目標が表され、子どもたちが、この世の光となって成長、發達することを願い制定されました。



現在も開校当時から大切にしている指標となっています。

#### 学校づくりのビジョン

笑顔あふれる学校へ

- ◇児童生徒の学ぶ意欲が高まる学校
- ◇保護者が安心、信頼できる学校
- ◇地域の人々とともに共生する学校
- ◇教職員が働きがいを感じられる学校

経営活動の基本方針	教育活動の基本方針
<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒一人一人の人権と尊厳に配慮した指導を推進する。</li> <li>○教職員一人一人が教育公務員としての自覚をもち、法令を遵守し、専門的、協働的、創造的に経営に参画する学校運営を推進する。</li> <li>○学習指導要領に基づき、教育課程を適切に編成し、実施する。</li> <li>○授業づくりの根幹となる肢体不自由教育の専門的指導力の向上に向けて研修を推進する。</li> <li>○医療的ケアの適切な実施を推進する。</li> <li>○学校評価や年度末反省、教育課程の改善などカリキュラム・マネジメントを機能させ、学校運営の改善を図り、時代の要請に応える学校経営を推進する。</li> <li>○教育活動の情報を適切に公開し、家庭、地域と連携する。</li> <li>○特別支援教育の充実を目指す校内支援体制づくり及び校外支援体制づくりを進める。</li> <li>○学校保健安全委員会等の組織対応により、保健、災害、防犯、事故等の危機管理の徹底を図り、安全で安心感のある学校経営を推進する。</li> <li>○教職員一人一人の専門性の向上を図り、学校の教育力を強化するとともに、特別支援教育のセンター的機能を果たす。</li> <li>○学校予算の適正かつ、効率的な執行を推進する。</li> <li>○教職員の働きがい、働きやすさのために、学校における働き方改革を推進するとともに、教職員の心身の健康などの諸課題の解決に努める。</li> <li>○PTA 活動の充実を図るとともに、保護者との不断のコミュニケーションを通して信頼関係を築く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を推進する。</li> <li>○子ども一人一人の将来を見据え、人とかかわる力や学びへの意欲を育むための教育活動を充実させる。</li> <li>○学部及び寄宿舎において、「個別の指導計画」「舎生の指導計画」及び「個別の教育支援計画」を積極的に活用し、卒業後の自立や社会参加につながる確かな力を身に付けさせる。</li> <li>○児童生徒の自発性や主体性を育むために、適切な人数による指導体制に努める。</li> <li>○学部間の円滑な接続と、児童生徒の学びの連続性を意図した教育課程の充実・改善を図る。</li> <li>○発達段階と一人一人の学びの状況を的確にとらえ、「自立活動の指導」の改善・充実を図るとともに、各教科等の観点をおさえた指導の充実を図る。</li> <li>○キャリア発達をふまえ、各学段段階における進路学習・進路支援を充実させる。</li> <li>○発達段階及び生活段階に即した健康教育、安全教育、防災教育、道徳教育を進めるとともに、人権尊重意識(いじめ問題含む)を育てる指導を充実させる。</li> <li>○教務・舎務及び専門職が連携して児童生徒の健康管理と必要な環境整備を進め、医療的ケアへの対応、食に関する指導の充実、感染症の予防など、健康の保持・増進を図る。</li> <li>○地域資源や人材を活用した教育活動や交流及び共同学習を推進し、児童生徒の社会性を育むとともに社会参加の取組を充実させる。</li> <li>○ICT 機器の効果的利活用による指導の充実や、教育活動の拡大を図る。</li> </ul>

#### 令和5年度の重点目標

- ・児童生徒に応じた人とかかわる力の育成
- ・社会に開かれた教育課程の充実

経営活動の重点	教育活動の重点
<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 命を守り、尊厳を大切にできる環境づくりを図る。               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 全教職員の連携のもと、児童生徒の健康管理、施設設備の安全管理、防災・防犯対策、事故対応など、組織として危機管理を徹底し、児童生徒の生命を守る。</li> <li>② 看護師、養護教諭を中心に全教職員の協力のもと、安心・安全な医療的ケアの実施に努め、安定した学習機会の提供を行う。</li> <li>③ 自立活動教諭、栄養教諭、看護師等の協力のもと、安心・安全な給食指導を行う。</li> <li>④ 学校における不適切な言動に留意し、児童生徒の尊厳を尊重した支援を行う。</li> </ol> </li> <li>(2) 教職員のメンタルヘルスを大切にできる職場環境に努める。               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 心理的安全性が高い環境をめざし、同僚性、協働性を発揮した業務のサポート体制等をつくる。</li> <li>② 教職員間の言語環境に留意する。</li> </ol> </li> <li>(3) 働き方改革を推進する。               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 働き方改革の目的は「教育の充実」であることを再確認し、自身のタイムマネジメントなど意識化を促進する。</li> <li>② 業務の平準化を適宜検討するとともに、「分担と依頼(分担等という名の個業)」から「共有と協働(分担しつつも共有・協働する組織)」へ思考の転換を図る取組を行う。</li> </ol> </li> <li>(4) 教職員の資質向上、専門性の向上を図る。               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 「研修受講歴を活用した対話に基づく受講奨励」が推進されるため、各種研修会等の情報提供の仕方など、組織的な対応について検討するなど取組を行う。</li> </ol> </li> <li>(5) 保護者とのパートナーシップの充実を図る。               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 共感的に受け止め、よりよい関係構築に繋がる取組を行う。</li> <li>② After コロナを見通し、PTA 活動の活性化に向けた取組を行う。</li> </ol> </li> <li>(6) 教育活動の発信の充実を図る。               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 家庭、地域、関係機関等に対処し、教育活動の理解、支援に繋がる取組を行う。</li> </ol> </li> <li>(7) 事務部の負担軽減に努める。               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 各種会計、提出書類など、適切な執行、提出を行う。</li> </ol> </li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 教育課程の適切な編成・実施に向けた改善を図る。               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 小・中・高等部の教育課程の連続性、独自性を整理し、一貫性を図る取組を行う。</li> <li>② 単元計画など一定のまとまりのある指導計画をもとに、次の単元計画等や年間指導計画の改善を図る取組を行う。</li> </ol> </li> <li>(2) 今年度の重点目標(人とかかわる力)や生きる力を育む授業を充実させる取組を行う。               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 一人一人の目標を明確にした個別の指導計画、個別の教育支援計画を活用し、目標達成に向け、教科横断的な視点を踏まえながら教育活動を行う。</li> <li>② 地域資源や人材等を活用した教育活動や交流及び共同学習を推進する。</li> <li>③ 「キャリア教育」や「特別の教科道徳」等の全体計画の内容を踏まえ、各指導の形態等と関連させながら授業を行う。</li> <li>④ 個別の指導計画及び個別の教育支援計画の様式変更に伴う課題等を整理し、工夫や修正を行う。</li> <li>⑤ ICT 機器を活用した教育活動を充実させるとともに、自己表現のアシストツールとしての活用を充実する。</li> <li>⑥ 訪問教育について教職員間の理解を深めるとともに、相互の教育活動の充実を図る取組を行う。</li> </ol> </li> <li>(3) 寄宿舎での生活指導、余暇活動、安全対策の充実を図る。               <ol style="list-style-type: none"> <li>① 「舎生の指導計画」の重点目標の達成に向け、適宜、保護者や学級担任等と情報共有し対応する。</li> <li>② 寄宿舎における活動については、校内にて共有し、必要に応じて協働する。</li> </ol> </li> </ol>

#### 令和5年度 研究主題

児童生徒一人一人に応じた授業づくり  
～新様式となった個別の指導計画の充実を目指して～

## IV 児童生徒の状況

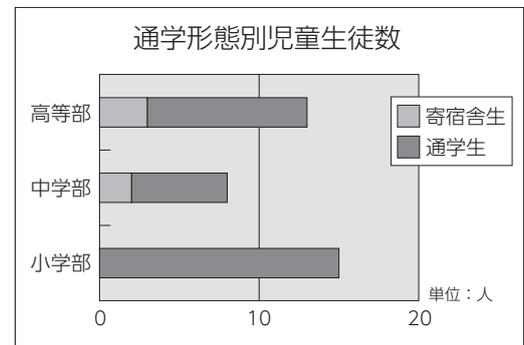
令和5年5月1日現在

### 1 学級別在籍児童生徒数

区 分	学 部 学 年	小 学 部						中 学 部				高 等 部				合計	
		1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	計	1	2	3		計
普通学級	児童生徒数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					0
	学 級 数							0				0				0	
重複学級	児童生徒数	4	4	2	1	3	1	15	2	1	5	8	1	4	8	13	36
	学 級 数	5						5	3			3	6			6	
訪問学級	児童生徒数	1	1	0	0	0	2	4	0	1	1	2	0	0	0	0	6
	学 級 数	2						2	1			1	0			0	
児童生徒数総計		5	5	2	1	3	3	19	2	2	6	10	1	4	8	13	42

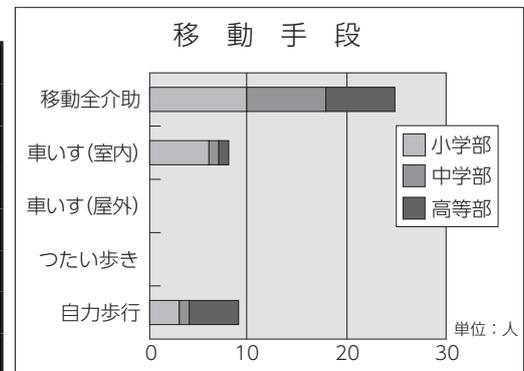
### 2 通学形態別児童生徒数(訪問を除く)

学 部	小 学 部						中 学 部				高 等 部				合計	
	1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	計	1	2	3		計
寄宿舎生	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	0	1	2	3	5
通学生	4	4	2	1	3	1	15	2	0	4	6	1	3	6	10	31



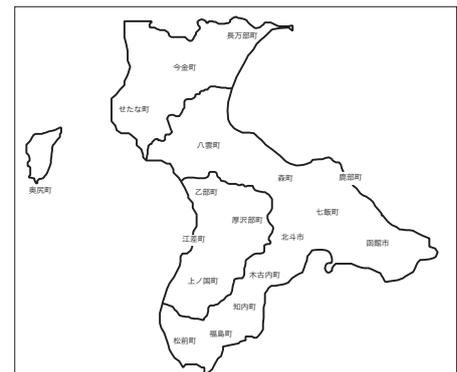
### 3 移動手段

手段	学 部 学 年	小 学 部						中 学 部				高 等 部				合計	
		1	2	3	4	5	6	計	1	2	3	計	1	2	3		計
移動手段	移動全介助	2	3	1	0	2	2	10	1	2	5	8	1	1	5	7	25
	車いす(室内)	1	1	1	1	1	1	6	0	0	1	1	0	1	0	1	8
	車いす(屋外)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	つたい歩き	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自力歩行	2	1	0	0	0	0	3	1	0	0	1	0	2	3	5	9
合 計		5	5	2	1	3	3	19	2	2	6	10	1	4	8	13	42



### 4 出身地別児童生徒数

振興局	渡 島										檜 山							合 計	
	函館市	松前町	福島町	知内町	木古内町	北斗市	七飯町	鹿部町	森町	八雲町	長万部町	江差町	上ノ国町	厚沢部町	乙部町	せたな町	今金町		奥尻町
小学部	7	0	0	0	0	5	5	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	19
中学部	7	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	10
高等部	8	0	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	13
合 計	22	0	0	0	0	8	6	0	1	1	1	0	1	0	0	2	0	0	42



5 教育課程（年間授業時数及び単位数）

(1) 在 校

教科領域 学部 学年	各 教 科										外国語活動	特別の教科道徳	（探求） 総合的な学習 の時間	特別活動	自立活動	各教科等を合わせた指導				合 計		
	国語	社会	算数 学数	理科	生活	音楽	図工 美術	保健 体育	職業 家庭 技術・ 家庭	外国語						情報	日常生活の 指導	学生 生活 単元 学習	作業 学習		課題 学習	
小 学 部	1 学 年	136		68		204	68	68	68				34		34	243					923	
	再 掲						68	68	68				5		34	238	340	68		34	923	
	2 学 年	140		70		210	70	70	70				35		35	250					950	
	再 掲						70	70	70				5		35	245	350	70		35	950	
	3 学 年	140		70		210	70	70	70				35	24	35	355					1079	
	再 掲						70	70	70				5	24	35	280	350	105		70	1079	
	4 学 年	140		70		210	70	70	70				35	24	35	390					1114	
	再 掲						70	70	70				5	24	35	245	350	140		105	1114	
	5 学 年	140		70		210	70	70	70				35	24	35	390					1114	
	再 掲						70	70	70				5	24	35	245	350	140		105	1114	
	6 学 年	140		70		210	70	70	70				35	24	35	390					1114	
	再 掲						70	70	70				5	24	35	245	350	140		105	1114	
中 学 部	1 学 年 A	140	105	140	105		70	70	105	70	15		35	25	35	170					1085	
	再 掲						70	70	70					25	35	170	260	175	70		1085	
	1 学 年 B	130	100	130	100		70	70	105	55	10		35	25	35	220					1085	
	再 掲						70	70	70					25	35	220	350	105	70		1085	
	2 学 年 B	130	100	130	100		70	70	105	55	10		35	25	35	220					1085	
	再 掲						70	70	70					25	35	220	350	105	70		1085	
	3 学 年 A	140	105	140	105		70	70	105	70	15		35	25	35	170					1085	
	再 掲						70	70	70					25	35	170	260	175	70		1085	
	3 学 年 B	130	100	130	100		70	70	105	55	10		35	25	35	220					1085	
	再 掲						70	70	70					25	35	220	350	105	70		1085	
	高 等 部	1 学 年 A	140	105	105	105		70	26.25	70	43.75	8.75	26.25		35	17.5	35	297.5				1085
		再 掲						70		70					17.5	35	297.5	367.5	227.5			1085
2 学 年 B		163.5	83	160.5	83		70	35	70	122	17.5	35		35	17.5	35	158				1085	
再 掲							70		70					17.5	35	158	280	227.5	140		1085	
3 学 年 A		140	105	105	105		70	26.25	70	43.75	8.75	26.25		35	17.5	35	297.5				1085	
再 掲							70		70					17.5	35	297.5	367.5	227.5			1085	
3 学 年 B		163.5	83	160.5	83		70	35	70	122	17.5	35		35	17.5	35	158				1085	
再 掲							70		70					17.5	35	158	280	227.5	140		1085	

※特別活動については、児童生徒会活動及び学校行事は除いて記載。  
 ※令和5年5月1日現在。

(2) 訪問教育

- ・ 1名あたり年間105時間(週3日×35週)、授業時数は210時間(1日2時間)を標準として、児童生徒の心身の状態に応じて実施している。
- ・ 登校学習については、学校行事(入学式、卒業式、運動会/体育大会、あさひ祭り、泊を伴う学習等)の他、学部の学習活動に参加している。

## 6 日課表

	小 学 部	中学部・高等部	下校スクールバス発車時刻
登校・朝の会	9:10～9:20	9:10～9:20	月 小学部 13:30 中学部以上 15:10
1校時	9:20～10:05	9:20～10:10	火 小学部1・2学年 13:30 小学部3学年以上 15:10
2校時	10:05～10:50	10:10～11:00	水・金 14:25
	10:50～11:00		木 小学部1～3学年 13:30 小学部4学年以上 15:10
3校時	11:00～11:45	11:00～11:50	
4校時	11:45～12:30	11:50～12:40	
給食・休憩	12:30～13:30	12:40～13:20	
5校時	13:30～14:15	13:20～14:10	
6校時	14:15～15:00	14:10～15:00	
帰りの会・清掃	15:00～15:10	15:00～15:10	

## 7 卒業生の進路 (中学部)

区分 年度	卒業生	進 学 者		施設・病院	その他
		高等養護(支援)学校 高校等	本校高等部		
～平成29年度	253	59	149	26	19
平成30年度	2	0	2	0	0
平成31年度 (令和元年度)	2	1	1	0	0
令和2年度	7	0	7	0	0
令和3年度	4	0	4	0	0
令和4年度	1	0	1	0	0

## (高等部)

区分 年度	卒業生	施設等への通所		施設入所・入院	その他
		介護系サービス (生活介護・デイサービス等)	就労系サービス (B型・移行・作業所等)		
～平成29年度	145	70	40	24	11
平成30年度	12	9	2	1	0
平成31年度 (令和元年度)	9	5	2	0	2
令和2年度	10	6	3	0	1
令和3年度	3	3	0	0	0
令和4年度	1	1	0	0	0

8 行 事

主な行事		1	2	3	4
	運動会／体育大会	1 学期始業式 入学式 二計測 耳鼻科健診、尿検査 全校集会 胸部X線(高1)・ 心電図検査(中1高1) 個別懇談 眼科健診	授業参観日 安全行動訓練 視力・聴力検査 歯科健診	内科健診 体育大会(高) 運動会(小・中) 避難訓練(火災) 交流学习(小)	全校集会 交流学习(小) 不審者対応訓練 1 学期終業式
	あさひ祭り(学校祭)	2 学期始業式 肢体不自由・病弱 教育校スポーツ大会 教育実習	シェイクアウト訓練 見学旅行(中) 一日防災学校 宿泊研修(小)	あさひ会(同窓会) 見学旅行(高) 宿泊研修(高) 全校集会 あさひ祭り(小中) 個別懇談	学芸会交流(小) 全校集会 避難訓練(地震) 交流学习(高) あさひ祭り(高) 開校記念日(22日) 授業参観日
	卒業を祝う会	交流学习(高) 安全行動訓練 2 学期終業式	3 学期始業式 全校集会 高等部入学者選考検査	一日入学(小) 卒業を祝う会(中高) 入学説明会(中高) 全校集会 個別懇談	卒業を祝う会(小) 同窓会入会式 卒業式 修了式

※新型コロナウイルス感染症の対応により、行事は変更する場合があります。

V 寄 宿 舎

日 課	平 日	月	行 事
起床・洗顔	6:30~7:30	4	歓迎会 端午の節句
朝食	7:45~8:40	5	
登校準備	8:40~9:10	6	火災避難訓練オリエンテーション 火災避難訓練
登校	9:10~9:20	7	七夕会
(学 校)		8	夜間火災避難訓練
下 校	13:30 早帰り 14:25 水・金曜日 15:10 遅帰り	9	地震避難訓練オリエンテーション 地震避難訓練 お楽しみ会
入 浴	週2回(火、木曜日)	10	たけのご祭り
自由時間 舎友会活動	下 校 後~16:45	11	
配 膳	16:30~17:00	12	クリスマス会
夕 食	17:00~18:00	1	
洗面・就寝準備 自由時間 水分補給	18:00~21:00	2	節分会
就 寝	小学生 20:00~ 中・高校生 20:00~21:00	3	卒業、進級を祝う会



たけのご祭り



節分会

# 教育相談・入学について

## 1 就学に関わる教育相談について

お気軽に  
ご相談ください。

- ☆ お子さんの身体機能面で気になること等について相談したい。
- ☆ お子さんの発達や障がいに応じた教育や進路について相談したい。
- ☆ 函館養護学校を見学したい。
- ☆ 函館養護学校の学習について知りたい。

・・・いつでも教育相談の受付を行っております。電話等でご相談ください・・・

- 相談内容の秘密は、厳守します。相談にかかわる費用は、かかりません。
- 相談に要する時間は、1時間から2時間程度です。
- 相談が入学に結びつくものではありません。

## 2 入学について

入学の手続き  
や  
問い合わせ

- 小学部1年生として入学を希望する場合  
市町村にある教育委員会に、就学についての相談をお申し出ください。
- 高等部に入学を希望する場合  
入学者選考検査があります。在学または卒業した中学校にご相談ください。

## 地域との連携と支援について

障がいのある子どもや地域の方々が「地域で豊かな自分らしい生活を送ることができる」ことをめざし、函館養護学校は地域と共に歩んでいきます。

### 教育相談

身体の動きに関することや発達の遅れなど、指導や学習・進路・子育てなどについて気に掛かることがありましたらご相談ください。



### 学校見学

随時、学校を公開しています。見学希望の方は、電話でご相談ください。

道南特別支援教育ネットワーク協議会  
道南地区(渡島・檜山管内)の教育機関、医療・保健・福祉・労働機関等の特別支援教育に関わる団体と特別支援学校九校によって構成されています。  
幼児児童生徒の特別な教育的ニーズに応じ関係機関との連携を密にしながら、教育的支援を行っています。  
詳しくは、下記までお問い合わせください。

### 教材貸出

教材を探していませんか？必要に応じて教材の貸し出しをしています。



北海道函館養護学校  
連携支援部

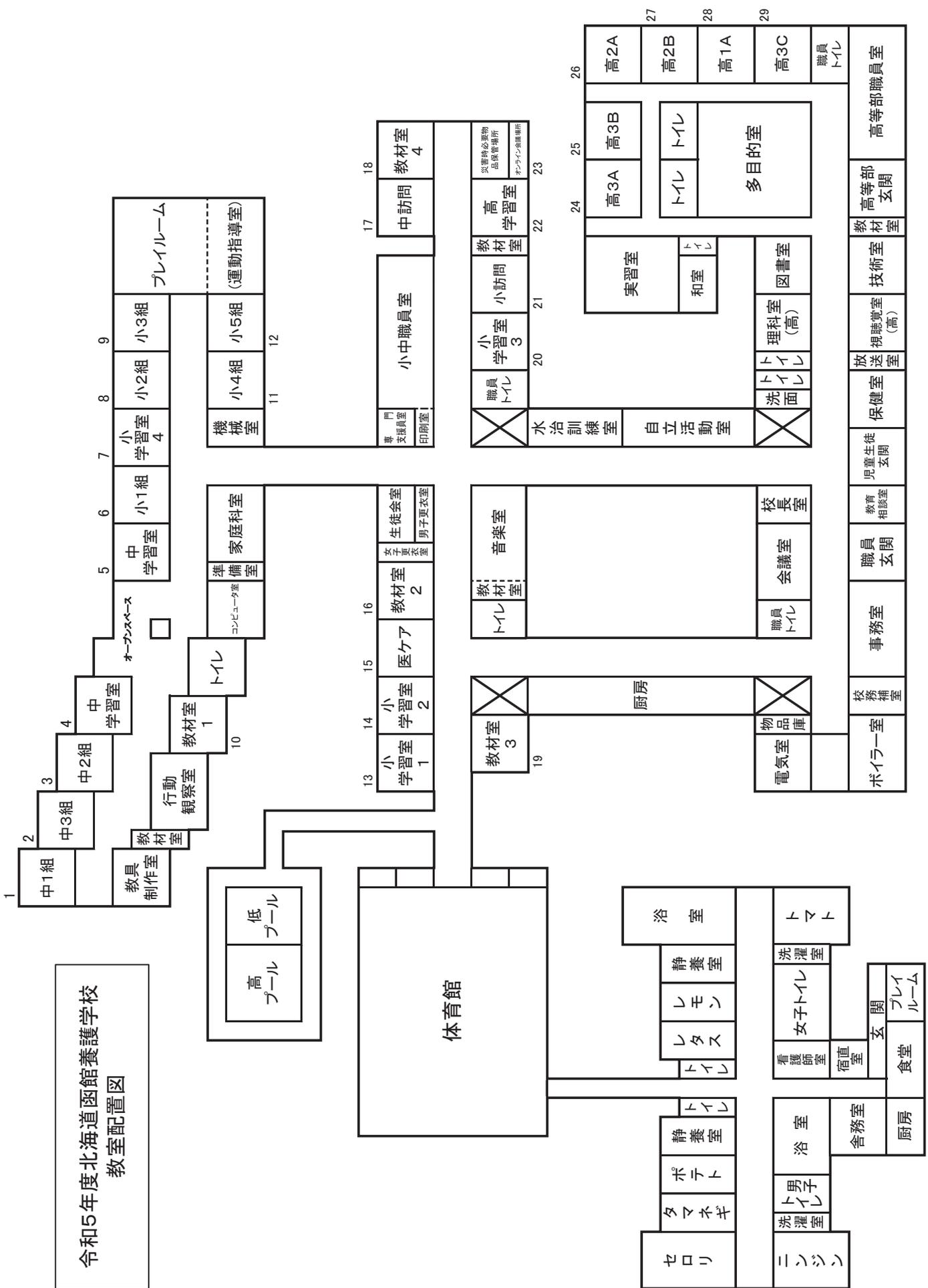
〒042-0916

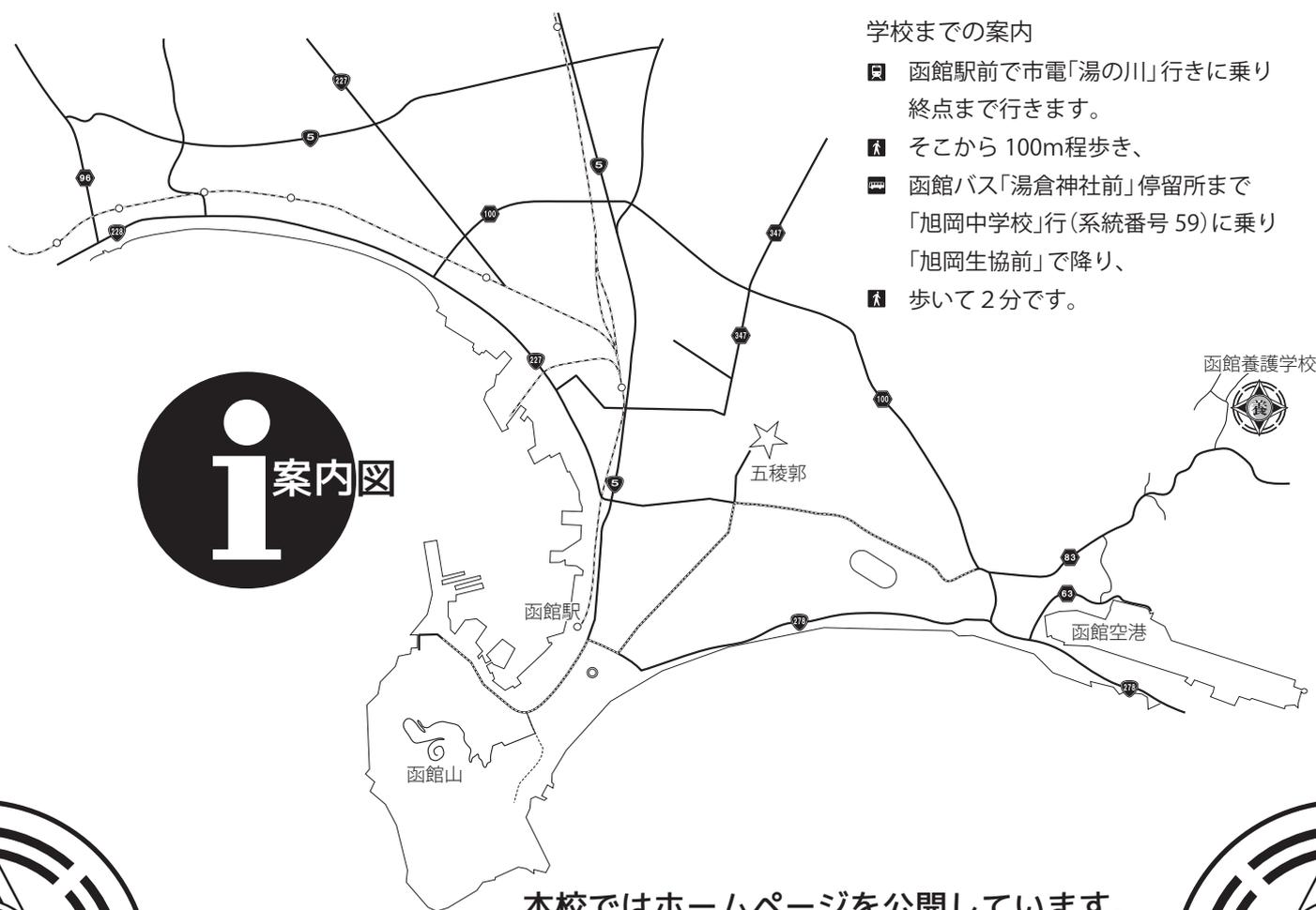
函館市旭岡町2番地

Tel: 0138-50-3311

Fax: 0138-50-3312

令和5年度北海道函館養護学校  
教室配置図





#### 学校までの案内

- 函館駅前で市電「湯の川」行きに乗り終点まで行きます。
- そこから 100m程歩き、
- 函館バス「湯倉神社前」停留所まで「旭岡中学校」行(系統番号 59)に乗り「旭岡生協前」で降り、
- 歩いて 2分です。

本校ではホームページを公開しています。  
<http://www.hakodateyogo.hokkaido-c.ed.jp/>